株式会社ナガワ

決算説明資料

—— **2024**年**3**月期第2四半期 ——

2024年3月期第2四半期連結決算概況

連結決算概況-B/S

※単位:百万円	FY2022 Q2 百万円 21年4-9月	FY2023 Q2 22年4-9月	FY2024 Q2 23年4-9月	Yor 増減	1Y 増減率
※半位・		22-7-7-3/]	20	- 01170	
流動資産	23,881	21,874	20,125	△1,748	△8.0%
貸与資産	9,107	10,865	12,723	1,858	17.1%
固定資産	30,602	2 33,735	40,266	6,531	19.4%
総資産	54,484	55,609	60,392	4,782	8.6%
流動負債	3,964	4,097	4,480	382	9.3%
純資産	49,696	51,427	55,314	3,887	7.6%
自己資本比率(%)	91.2%	92.5%	91.6%	△0.9pt	_
1株当たり純資産 (円)	3,167.31	3,271.52	3,518.60	247.08	7.6%

連結決算概況-P/L

当第2四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の行動制限緩和により企業収益や個人消費、インバウンド需要の改善がみられ、緩やかな景気回復傾向にありました。一方、国内では人手不足の深刻化や実質賃金の低下、海外経済においてはウクライナ情勢の長期化や世界経済の減速など、先行き不透明な状況が続いております。

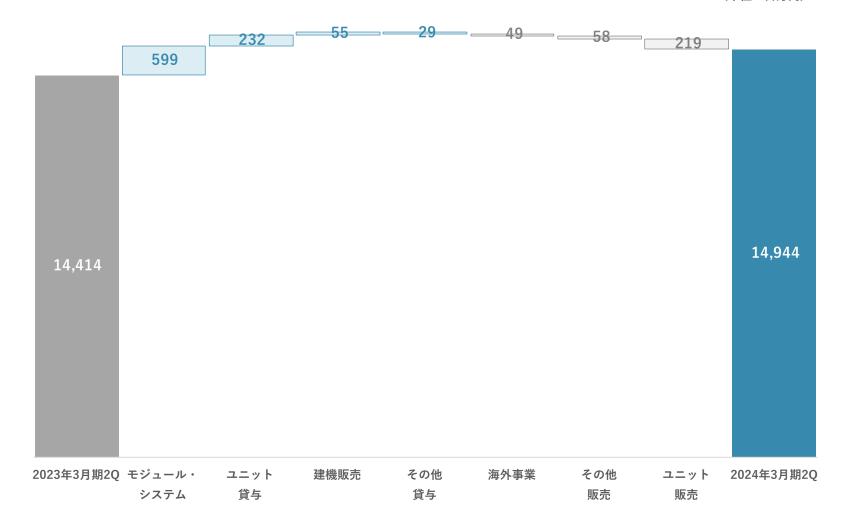
この様な環境のもと、今後の需要拡大を見すえた展示場の拡充や移転、新規開設による積極的な投資を行ってまいりました。

	FY2022 Q2	FY2023 Q2	FY2024 Q2	YonY	
※単位:百万円	21年4-9月	22年4-9月	23年4-9月	増減	増減率
売上高	14,286	14,414	14,944	530	3.7%
売上総利益	6,073	6,110	6,185	74	1.2%
営業利益	2,075	2,042	1,792	△249	△12.2%
経常利益	2,248	2,289	2,016	△272	△11.9%
当期純利益(※)	1,488	1,603	1,313	△290	△18.1%

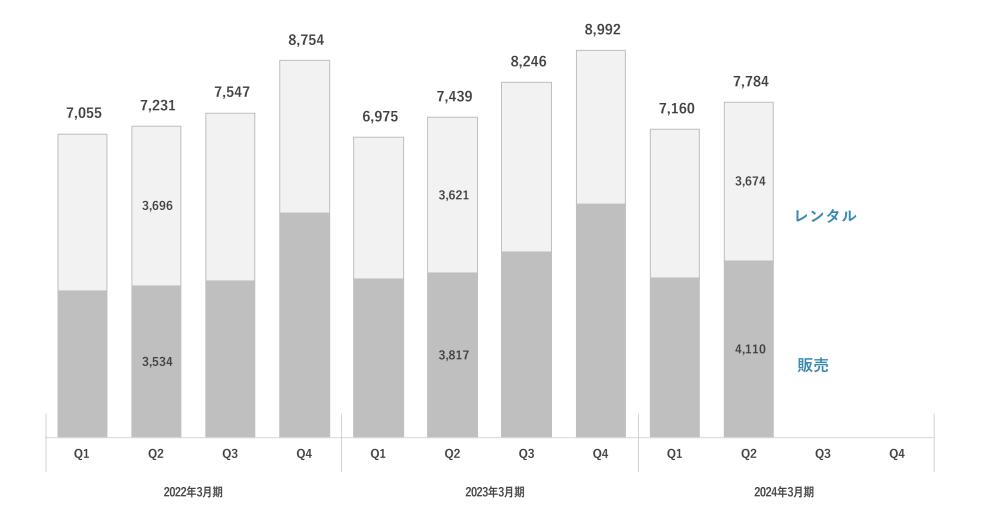
※当期純利益:親会社株主に帰属する当期純利益を示す。

連結決算概況-要素別売上高増減





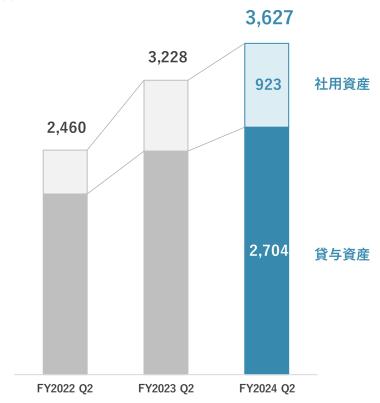
連結決算概況-四半期ごとの売上高推移



設備投資額と減価償却額

設備投資額推移

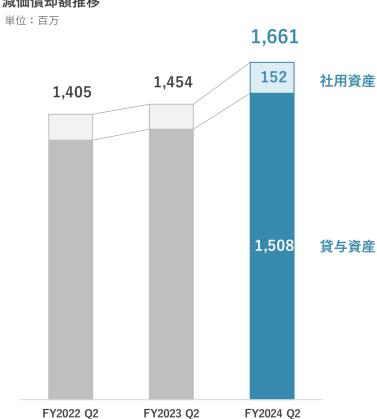
単位:百万



他社が投資を控える中、さらなるシェア拡大を目的とし て積極的に貸与資産の生産を継続。

社用資産についても、モジュールベースなどの店舗展開 を加速させ、用地の取得や店舗建築などへの投資を積極 的におこなった。

減価償却額推移



貸与資産については積極的な投資による償却の増加であり、 社用資産については前年並みとなった。

2024年 **3**月期 第2四半期 **連結決算概況** ー セグメント別

セグメント別

	FY2022 Q2	FY2023 Q2	FY2024 Q2	YonY	
※単位:百万円	21年4-9月	22年4-9月	23年4-9月	増減	増減率
売上高合計	14,286	14,414	14,944	530	3.7%
ユニットハウス事業	12,095	12,513	12,421	△92	△0.7%
モジュール・システム建築事業	1,670	1,427	1,979	551	38.6%
建設機械レンタル事業	520	473	544	71	15.2%
営業利益合計	2,075	2,042	1,792	△249	△12.2%
ユニットハウス事業	1,848	1,855	1,532	△322	△17.4%
モジュール・システム建築事業	189	160	304	143	89.6%
建設機械レンタル事業	55	48	△24	△72	

ユニットハウス事業

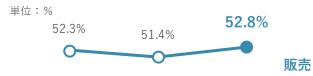
販売では、全国一斉販売キャンペーンを引き続き常設展示場で実施し、個人における新たな需要を喚起することで販売拡大に努めました。 レンタルでは営業強化による受注拡大と、配送体制の効率化による供給体制強化により、稼働率を前年同期比で上回る結果となりました。

販売売上とレンタル売上

単位:百万円



売上総利益率





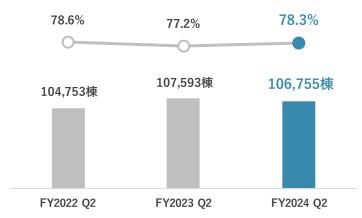
販売棟数

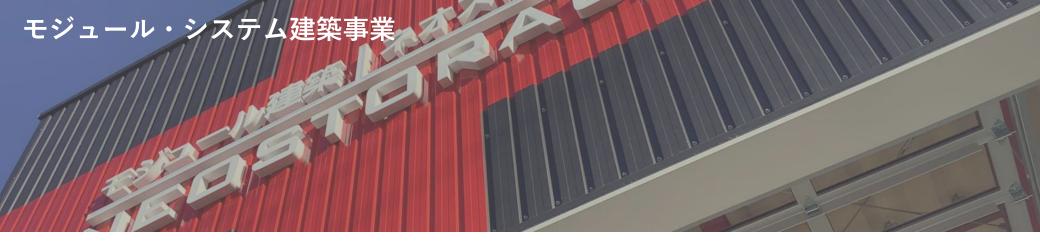
単位:棟



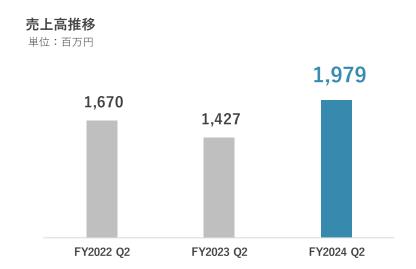
保有棟数と稼働率

単位:棟/%





前期より「軽量鉄骨造のモジュール建築を体験できる展示場」として開設を開始したモジュールベースを、**15**店舗まで拡充。 受注拡大に努めてまいりました。

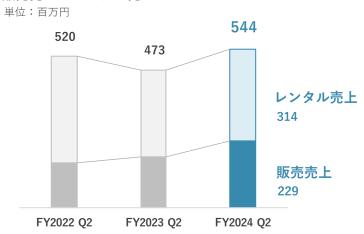




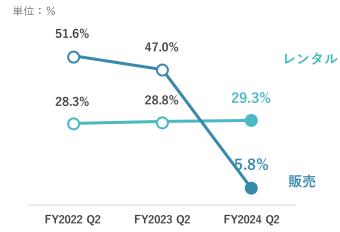


営業エリアである北海道南部建設市場の公共工事発注金額が減少傾向にある中、民間企業への営業活動強化に努めてまいりました。

販売売上とレンタル売上



売上総利益率



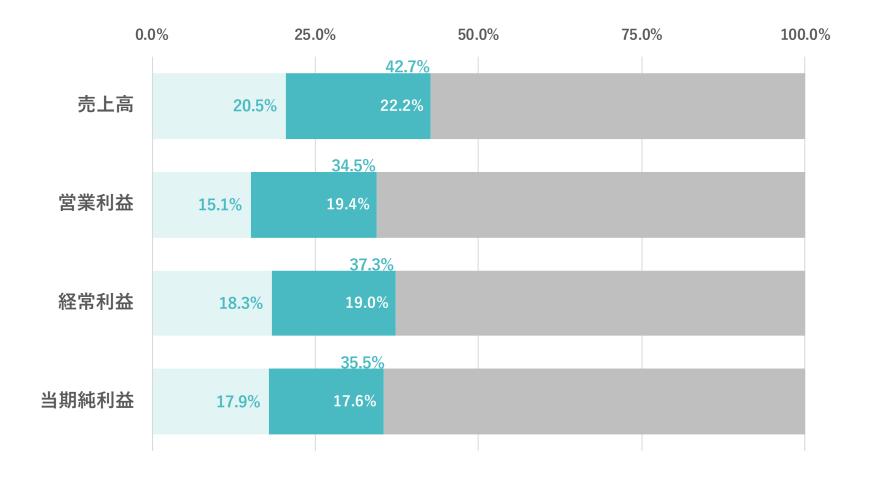
2024年3月期 業績見通し

業績見通し

※単位:百万円	2022年3月期 21年4-3月	2023年3月期 22年4-3月	2024年3月期 23年4-3月	Yon 増減	Y 増減率
売上高	30,587	31,652	35,000	3,348	10.6%
営業利益	4,432	4,308	5,200	892	20.7%
経常利益	4,689	4,674	5,400	726	15.5%
当期純利益(※)	3,017	3,130	3,700	570	18.2%
総資産	55,902	58,806	60,000	1,194	2.0%
純資産	51,009	53,480	56,000	2,520	4.7%
自己資本比率(%)	91.2	90.9	92.0	1.1pt	_
1株当たり純資産	3,244.32	3,401.25	3,423.00	21.75	0.6%

※当期純利益:親会社株主に帰属する当期純利益を示す。

業績見通し一進捗



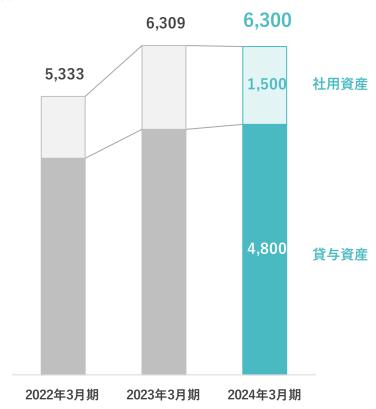
業績見通しーセグメント別

※単位:百万円	2022年3月期 21年4-3月	2023年3月期 22年4-3月	2024年3月期 23年4-3月	Yon 増減	Y 増減率
売上高合計	30,587	31,652	35,000	3,348	10.6%
ユニットハウス事業	25,194	26,332	28,000	1,668	6.3%
モジュール・システム建築事業	4,221	4,196	5,600	1,404	33.5%
建設機械レンタル事業	1,170	1,123	1,400	277	24.7%
営業利益合計	4,432	4,308	5,200	892	20.7%
ユニットハウス事業	3,843	3,907	4,550	643	16.5%
モジュール・システム建築事業	489	366	500	134	36.6%
建設機械レンタル事業	143	84	150	66	78.6%
全社消去	△44	△50	-	-	

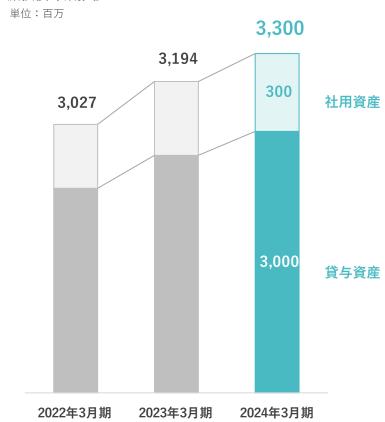
設備投資額と減価償却額

設備投資額推移

単位:百万



減価償却額推移



免責事項

この資料は、株式会社ナガワ(以下、当社)の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。

当資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。また、本資料には、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

以上を踏まえ、投資をおこなう際は投資家の皆様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

※決算短信や、その他の資料は弊社HPにてご確認ください。

株式会社ナガワ|IRライブラリー https://group.nagawa.co.jp/ir/library.html

